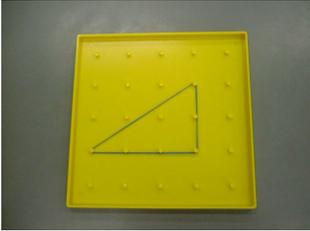
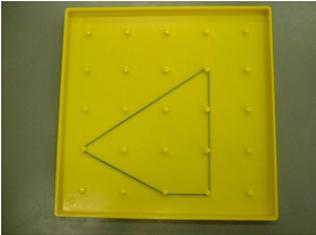


実践レポート

【報告者】 栗原 光	
【学年】 3年	【教科・単元名など】 算数「長方形と正方形」
【実践内容】	
<p>ジオボードを使って直角のある形を作る。</p>	
<p>・直角のある三角形をつくってみよう。 「直角三角形ができた。」</p>	
	
<p>・直角の一つある四角形をつくってみよう ・直角の二つある四角形をつくってみよう 「かんたんだよ。」</p>	
	
<p>・直角の三つある四角形をつくってみよう 「うまくいかないなあ」「できないんじゃないの」「直角が4つになっちゃうよ。」 直角三つは誰もできないことを確認する。</p>	
<p>・直角4つの四角形はできるよね。 作らせた形を見ながら長方形の定義を確認する。 さらに正方形を意図的につくらせ、正方形の定義も確認する。</p>	
【反省】	
<p>長方形や正方形を授業の中で扱った後で最後のまとめとして、ジオボードを使用した。ジオボードを使う利点は、何度かけ直してもいいし、位置を変えてみることも簡単にできることである。人数分そろっていることも利用しやすい。操作が楽なので、手先が不器用な子ども達にも好評であった。授業後には、「もっとやってみたかった」の声が多く聞かれた。</p>	
<p>今回の内容は、いろいろな長方形や正方形をつくらせることがメインであったが、その時に直角に着目させる様に投げかけをしてみた。最初の条件は簡単につくっていた子達も、直角3つの四角形をつくるという課題には試行錯誤を繰り返し、苦戦していた。（当たり前だが）そして、最終的には、どうしても4つになってしまうことに気づいた。大人なら頭で考えておしまいたが、3年生ぐらいたと自分達の手で繰り返し、感覚的にできないことを経験させることも必要でよかったのではないかと思える。</p>	
<p>ジオボードという道具を使うことに加え、課題の与え方を工夫することによってほとんどの子が意欲的に取り組み、集中して学習に臨むことができていた。</p>	
<参考文献> 授業のネタ（坪田算数・中学年 P26～27）	